



2007年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結) 2007年2月8日  
(平成19年3月期)

上場会社名 日本たばこ産業株式会社 上場取引所 東大名福札  
コード番号 2914 本社所在都道府県 東京都  
(URL http://www.jti.co.jp/)  
代表者 代表取締役社長 木村 宏  
問合せ先責任者 執行役員コミュニケーション責任者 志水 雅一 TEL (03) 3582-3111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
(内容) 当社は、中間(連結)財務諸表の作成基準をベースにし、法人税等の計上基準等において簡便な方法を採用しております。また、監査法人による会計監査を受けておりません。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
(内容) 連結子会社 154社(新規3社 除外6社) 持分法適用会社 12社(新規1社 除外1社)

2. 2007年3月期第3四半期財務・業績の概況(2006年4月1日～2006年12月31日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況 (注)百万円未満は切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2007年3月期第3四半期	3,637,470	2.5	273,459	8.6	276,026	13.3	193,485	18.0
2006年3月期第3四半期	3,550,368	△1.3	251,849	9.3	243,558	7.1	164,025	24.8
(参考)2006年3月期	4,637,657		306,946		297,842		201,542	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
2007年3月期第3四半期	20,196.69	—
2006年3月期第3四半期	85,607.45	—
(参考)2006年3月期	105,084.78	—

(注)①売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率

②2006年4月1日付をもって1株につき5株の割合で株式分割しております。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2007年3月期第3四半期	3,405,521	1,994,823	56.7	201,565.80
2006年3月期第3四半期	3,100,893	1,698,151	54.8	886,293.18
(参考)2006年3月期	3,037,378	1,762,511	58.0	919,780.33

(注)①2006年3月期第3四半期及び2006年3月期の数値については、従来の「株主資本」、「株主資本比率」、「1株当たり株主資本」を記載しております。

②2006年4月1日付をもって1株につき5株の割合で株式分割しております。

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2007年3月期第3四半期	349,869	20,378	△29,400	1,264,022
2006年3月期第3四半期	124,224	△91,753	△41,447	828,688
(参考)2006年3月期	150,342	△26,357	△48,134	920,141

3. 2007年3月期の連結業績予想(2006年4月1日～2007年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	4,740,000	298,000	202,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 21,085円42銭

(注)上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は予想と大きく異なることがあります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、6、7ページ及び「2007年3月期第3四半期決算短信添付資料」の将来に関する記述等についてのご注意をご参照ください。

## 1. 経営成績及び財政状態

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等

#### ① 全般的概況

##### 当第3四半期（2006年4月1日～2006年12月31日）の業績

当社グループは、昨年5月に策定した中期経営計画「JT2008」に沿った施策を着実に実行し、将来に亘る持続的な成長の実現に向け取り組んでおります。

#### 売上高

国内たばこ事業における販売数量の減少があったものの、海外たばこ事業における販売数量の増加等により、売上高は前年同期比 871 億円増収の 3 兆 6, 374 億円（前年同期比 2. 5%増）となりました。

	2006年3月期 第3四半期 (億円)	2007年3月期 第3四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結	35,503	36,374	871	2.5
国内たばこ事業	26,319	26,249	△70	△0.3
海外たばこ事業	6,494	7,424	930	14.3
医薬事業	388	360	△28	△7.2
食品事業	2,127	2,185	57	2.7
その他事業	173	155	△18	△10.5

※外部売上高で表示しております。

#### 営業利益

国内たばこ事業における定価改定に伴う販売単価の上昇及びコストの削減、海外たばこ事業における利益成長等により、営業利益は前年同期比 216 億円増益の 2,734 億円（前年同期比 8.6%増）となりました。

	2006年3月期 第3四半期 (億円)	2007年3月期 第3四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結	2,518	2,734	216	8.6
国内たばこ事業	1,767	1,967	200	11.4
海外たばこ事業	596	709	112	18.9
医薬事業	△26	△73	△47	—
食品事業	54	66	11	21.7
その他事業	59	67	8	13.5
消去又は全社	67	△2		

#### 経常利益

為替差損益の改善等により、経常利益は前年同期比 324 億円増益の 2,760 億円（前年同期比 13.3%増）となりました。

#### 四半期純利益

固定資産売却損が減少したこと等により、四半期純利益は前年同期比 294 億円増益の 1,934 億円（前年同期比 18.0%増）となりました。

## ②事業別の概況

### 〔国内たばこ事業〕

国内たばこ事業につきましては、当社グループの利益創出の中核として位置づけております。国内市場における総需要の減少により、競合他社との競争が激化する中、昨年7月のたばこ税増税の実施に伴い、事業環境は一層厳しさを増しております。当社としては、伸張セグメントへの効果的な新製品投入に加え、既存ブランドについても必要な刷新・強化を行い、シェア確保に努めるとともに、生産性の向上につきましても、不断の取り組みを行っております。

当第3四半期においては、中核ブランドであるマイルドセブン・ファミリーのパッケージについて、昨年5月からボックス製品5銘柄に「ブルーウインド」マークを採用しており、さらに、昨年12月からはソフトパック製品及びタール1mg製品9銘柄のデザインを変更し、ブランドイメージの統一を図りました。伸張セグメントへの効果的な新製品の投入として、D-spec製品（当社独自の「たばこの先から立ち上るにおいを抑える」低臭気技術を活用した製品）4銘柄を含む6ブランド6銘柄（表1）を発売するとともに、地域限定で発売していた製品のうち、お客様の支持が強い製品について、2ブランド2銘柄（表2）を全国拡販し、効率的・効果的な販売促進活動を行っております。

（表1）

2006年10月発売

銘柄	価格/本数	タール/ニコチン値	初期発売地域	備考
キャピテン・ワン・テイスティ・100 <sup>s</sup> ・ボックス	300円/20本	1mg/0.1mg	宮城県・神奈川県・愛知県・京都府・福岡県を除く42都道府県	
キャメル・メンソール・ボックス	320円/20本	8mg/0.7mg	宮城県	メンソール製品 D-spec製品
さくら	350円/20本	7mg/0.6mg	神奈川県	D-spec製品
ピース・インフィニティ	350円/20本	8mg/0.7mg	京都府	D-spec製品
セーラム・アイスブルー	320円/20本	8mg/0.6mg	福岡県	メンソール製品 D-spec製品

2006年12月発売

銘柄	価格/本数	タール/ニコチン値	初期発売地域	備考
マイルドセブン・スーパースマイル・100 <sup>s</sup> ・ボックス	300円/20本	6mg/0.5mg	北海道※	

※2007年2月1日より全国拡販

（表2）

2006年4月全国拡販

銘柄	価格/本数	タール/ニコチン値	備考
セブンスター・レボ・ウルトラライト・メンソール・ボックス	320円/20本	3mg/0.2mg	メンソール製品・D-spec製品

2006年12月全国拡販

銘柄	価格/本数	タール/ニコチン値	備考
キャピテン・ワン・テイスティ・100 <sup>s</sup> ・ボックス	300円/20本	1mg/0.1mg	

当第3四半期における紙巻たばこの販売数量は、2005年4月末日をもってマールボロ製品の日本国内におけるライセンス契約を終了したことによる減少要因に加え、昨年7月のたばこ税増税の実施に伴う定価改定の影響により、前年同期に対し116億本減少し、1,355億本（注）（前年同期比7.9%減）、シェアは、64.9%（前年同期比1.9ポイント減）となりました。一方、千本当税抜売上高は、定価改定に伴う販売単価の上昇により、前年同期に対し105円増加し、3,971円となりました。

この結果、売上高は、販売数量の減少により、前年同期比70億円減収の2兆6,249億円（前年同期比0.3%減）となりましたが、営業利益は、販売単価の上昇及びコストの削減等により、前年同期比200億円増益の1,967億円（前年同期比11.4%増）となりました。

（注） 国内たばこ事業の販売数量には、当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第3四半期における販売数量25億本があります。

## 〔海外たばこ事業〕

海外たばこ事業につきましては、当社グループの利益成長の牽引役として、子会社 JT International S.A. を中核に、グローバル・フラッグシップ・ブランド（国際的な主要ブランドである「キャメル」「ウinston」「マイルドセブン」「セーラム」、以下「GFB」）を中心とした成長に努めております。

当第3四半期における紙巻たばこの販売数量は、利益成長を主眼に注力している GFB が好調に推移した事を主要因に、前年同期に対し 147 億本増加し、1,782 億本（前年同期比 9.0%増）となりました。GFB の販売数量は、「キャメル」がイタリア、フランスで、「ウinston」がスペイン、ロシア、イラン、トルコ、ウクライナ、イタリアで、「マイルドセブン」が台湾、ロシアで伸張したこと等から、前年同期に対し 111 億本増加し、1,103 億本（前年同期比 11.2%増）となりました。

この結果、売上高は、前年同期比 930 億円増収の 7,424 億円（前年同期比 14.3%増）、営業利益は、2005 年 5 月に日本市場を国内たばこ事業に移管した影響、スペインでのたばこ税増税に関わる影響等があったものの、GFB を中心とした販売数量の増加等により、前年同期比 112 億円増益の 709 億円（前年同期比 18.9%増）となりました。

※ 当第3四半期の為替レートにつきましては 1 US ドル=115.90 円、前年同期の為替レートにつきましては 1 US ドル=107.90 円です。

※ 海外たばこ事業につきましては、2006 年 1～9 月の実績を当第3四半期の実績としております。

なお、カナダやロシアにおける当社グループの現地法人が受けている不当な課税通知につきましては、必要な措置をとっており、現在、当該法人は通常どおり事業を継続しております。当社グループは、今後も引き続き、事業を展開しているすべての国において、常に法令に則り、適切にビジネスを行うとともに、不当な課税通知等に対しましては、訴訟を含むあらゆる手段を講じてまいる所存です。

### <参考>

当社は、英国たばこ会社 Gallaher 社と、Gallaher 社発行済及び発行予定全株式を取得し、完全子会社化（以下「本件買収」）する手続きを開始することに合意致しました。（2006 年 12 月 15 日公表）

本件買収は英国法に基づく、スキーム・オブ・アレンジメント（Scheme of Arrangement）により実施いたします。スキーム・オブ・アレンジメントとは、Gallaher 社取締役会の同意に基づき、競争法当局、Gallaher 社の株主総会及び裁判所の承認を満たすことにより買収が成立する、友好的な買収手法です。

本件買収について、Gallaher 社取締役会は全会一致で賛同しており、また、Gallaher 社は英国時間 2007 年 1 月 19 日に、スキーム・オブ・アレンジメントに関する案内・手続き書類を Gallaher 社株主へ発送しております。

## 〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、将来における柱事業を目指し、事業価値増大の早期実現に向け、臨床開発品の着実なステージアップと研究開発パイプラインの充実に努めております。また、導出・導入機会の戦略的な探索にも引き続き取り組んでおります。

開発状況としましては、高尿酸血症治療薬「JTT-552」が臨床試験段階に移行したことにより、現在、自社開発品 7 品目が臨床試験の段階にあります。なお、昨年 4 月には前臨床試験段階の新規化合物をグラクソ・スミスクライン社へ、昨年 12 月には前臨床試験段階の抗体医薬候補品をメディムーン社へ、それぞれ導出いたしました。

アグロン社（現在、ファイザー社の子会社）と共同開発し、米国、欧州及び日本等で販売しております抗 HIV 薬「ピラセプト」のロイヤリティ収入につきましては、市場における競争の激化により、減少いたしました。

また、子会社鳥居薬品株式会社につきましては、外用副腎皮質ホルモン剤「アンテベート」及び抗 HIV 薬「ツルバダ」等が伸張しましたが、昨年 4 月より実施の薬価改定の影響等もあり、

主力品である蛋白分解酵素阻害剤「注射用フサン」、肝臓疾患用剤・アレルギー用薬「強力ネオミノファーゲンシー」等の売上高が減少したことから減収となりました。

この結果、売上高は、グラクソ・スミスクライン社、メディミュン社への導出に伴う一時的収入等があったものの、前年同期はギリアド・サイエンシズ社への抗 HIV 薬「JTK-303」の導出に伴う一時的収入を計上していたこと、鳥居薬品㈱における減収等により、前年同期比 28 億円減収の 360 億円（前年同期比 7.2%減）となりました。利益面では、これらの要因に加え、当社における研究開発費の増加により、営業損失は 73 億円（前年同期は 26 億円の営業損失）となりました。

なお、2005 年 3 月に当社、東レ㈱、鳥居薬品㈱との間で国内における共同開発及び販売権に関する契約を締結し、共同開発を進めてきた血液透析患者におけるそう痒症を対象とする東レ㈱創製の止痒薬について、昨年 11 月、東レ㈱が新薬承認申請を行いました。また、この止痒薬については、肝疾患に伴うそう痒症を適応症とする国内における共同開発及び販売に関する契約を、昨年 9 月に締結しております。

### 〔食品事業〕

食品事業につきましては、当社グループの柱事業として、飲料事業、加工食品事業（冷凍加工食品、ベーカリー、チルド加工食品、常温加工食品）、調味料事業の 3 分野に注力し、競争優位性の確立へ取り組むとともに、総合食品メーカーとしての基盤確立に努めております。

飲料事業におきましては、自動販売機オペレーターである子会社㈱ジャパンビバレッジを中心とした着実な拡大を図るとともに、基幹ブランドである「ルーツ」を中心に、差別化を徹底的に追求した新製品等を積極的に開発・投入いたしました。

加工食品事業におきましては、市販用冷凍食品の「お弁当大人気！」シリーズ、「いまどき和膳」シリーズ等のラインナップの充実・強化を図り、事業量の拡大及び収益力の強化に努めております。

調味料事業におきましては、当社独自の技術を活用した高核酸酵母エキス等の天然調味料の開発・上市等を通じ、事業基盤の強化に取り組んでおります。

この結果、飲料事業における自動販売機販路の拡大及び「ルーツ」の順調な伸張、加工食品事業における冷凍加工食品及びチルド加工食品の事業量の拡大等により、売上高は、前年同期比 57 億円増収の 2,185 億円（前年同期比 2.7%増）、営業利益は、前年同期比 11 億円増益の 66 億円（前年同期比 21.7%増）となりました。

### 〔その他事業〕

その他事業につきましては、株式譲渡による連結子会社の減少等により、売上高は、前年同期比 18 億円減収の 155 億円（前年同期比 10.5%減）となりました。営業利益は、不動産賃貸収入の増加により、前年同期比 8 億円増益の 67 億円（前年同期比 13.5%増）となりました。

## (2) 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

当第3四半期末における連結ベースでの現金及び現金同等物は、前年度末に比べ3,438億円増加し、1兆2,640億円となりました。（前年同期末残高8,286億円）

### **〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕**

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、3,498億円の収入（前年同期は1,242億円の収入）となりました。これは、たばこ事業による安定したキャッシュ・フローの創出力に加え、未払たばこ税等の増加、希望退職施策による退職金の支払の減少等によるものです。

### **〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕**

当第3四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、203億円の収入（前年同期は917億円の支出）となりました。これは、主として有価証券の売却及び償還等による収入が増加したこと等によるものです。

### **〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕**

当第3四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、294億円の支出（前年同期は414億円の支出）となりました。これは、子会社における短期借入金の増加による収入があったものの、配当金支払の増加があったこと等によるものです。

## 2. 2007年3月期の連結業績予想（2006年4月1日～2007年3月31日）

2007年3月期の連結業績の見通しにつきましては、以下のとおりです。

	今回予想	前回予想 (2006年10月31日公表)
売上高	47,400 億円	47,700 億円
営業利益	3,180 億円	3,080 億円
経常利益	2,980 億円	3,100 億円
当期純利益	2,020 億円	2,060 億円

海外たばこ事業において、GFBを中心として販売数量が増加しておりますが、国内たばこ事業における総需要の減少等により、売上高につきましては前回予想から300億円下方修正いたします。

営業利益につきましては、売上高の下方修正の影響を、国内たばこ事業における自動販売機経費の減少、葉たばこ評価洗替差損益の改善、海外たばこ事業における利益成長等により補い、前回予想から100億円上方修正いたします。

経常利益につきましては、Gallaher社買収に備えた資金調達に関連する費用の発生等により、前回予想から120億円下方修正し、当期純利益につきましては、前回予想から40億円下方修正いたします。

※通期の見通しの主な前提条件		
国内たばこ事業		
	今回予想	前回予想
販売数量	1,740 億本	1,760 億本
海外たばこ事業		
	今回予想 (2006年1～12月実績)	前回予想
販売数量	2,401 億本	2,390 億本
GFB販売数量	1,491 億本	1,470 億本
為替レート (1USドル)	116.38 円	116.00 円

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2007年3月期第3四半期決算短信添付資料」に記載しております。

(注) 上記の業績見通しの各数値は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいて算定しております。また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いて算定したものです。将来の予想に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性等に照らし、現実の業績の数値は、上記の予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績見通しのご利用にあたっては、「将来に関する記述等についてのご注意」も併せてご参照ください。

## (将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

**(要約) 第3四半期連結貸借対照表**

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度末 (2006年3月31日現在)		当第3四半期連結会計期間末 (2006年12月31日現在)		増減金額
	金 額	構成比	金 額	構成比	
(資産の部)		%		%	
<b>流動資産</b>	<b>1,608,154</b>	<b>52.9</b>	<b>2,014,920</b>	<b>59.2</b>	<b>406,766</b>
現金及び預金	322,715		1,027,500		704,785
受取手形及び売掛金	134,182		178,197		44,014
有価証券	576,967		199,608		△ 377,358
たな卸資産	406,832		436,029		29,197
その他の	169,231		175,507		6,275
貸倒引当金	△ 1,776		△ 1,924		△ 147
<b>固定資産</b>	<b>1,429,180</b>	<b>47.1</b>	<b>1,390,577</b>	<b>40.8</b>	<b>△ 38,603</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>596,544</b>	<b>19.7</b>	<b>596,157</b>	<b>17.5</b>	<b>△ 386</b>
建物及び構築物	238,049		228,947		△ 9,102
機械装置及び運搬具	144,604		138,688		△ 5,916
土地	138,671		132,359		△ 6,312
その他の	75,217		96,162		20,944
<b>無形固定資産</b>	<b>579,519</b>	<b>19.1</b>	<b>549,448</b>	<b>16.1</b>	<b>△ 30,070</b>
連結調整勘定	355,183		—		△ 355,183
のれん	—		357,485		357,485
商標権	190,587		163,057		△ 27,529
その他の	33,748		28,905		△ 4,842
<b>投資その他の資産</b>	<b>253,117</b>	<b>8.3</b>	<b>244,971</b>	<b>7.2</b>	<b>△ 8,145</b>
投資その他の資産	254,941		246,354		△ 8,586
貸倒引当金	△ 1,292		△ 974		318
投資評価引当金	△ 531		△ 408		122
<b>繰延資産</b>	<b>44</b>	<b>0.0</b>	<b>23</b>	<b>0.0</b>	<b>△ 20</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,037,378</b>	<b>100.0</b>	<b>3,405,521</b>	<b>100.0</b>	<b>368,142</b>

**(要約) 第3四半期連結貸借対照表**

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度末 (2006年3月31日現在)		当第3四半期連結会計期間末 (2006年12月31日現在)		増減金額
	金 額	構成比	金 額	構成比	
( 負 債 の 部 )		%		%	
<b>流 動 負 債</b>	<b>626,355</b>	<b>20.6</b>	<b>880,010</b>	<b>25.8</b>	<b>253,655</b>
支払手形及び買掛金	137,454		145,484		8,030
短期借入金	33,292		46,037		12,745
一年以内返済予定の長期借入金	18,203		19,122		918
未払たばこ税	68,184		141,067		72,882
未払たばこ特別税	12,793		24,410		11,617
未払地方たばこ税	95,181		202,346		107,165
賞与引当金	27,610		16,666		△ 10,943
その他の引当金	1,869		1,978		108
その他	231,764		282,896		51,131
<b>固 定 負 債</b>	<b>590,950</b>	<b>19.5</b>	<b>530,687</b>	<b>15.6</b>	<b>△ 60,263</b>
社 債	150,000		150,000		-
長期借入金	15,111		6,084		△ 9,027
退職給付引当金	293,425		287,365		△ 6,059
役員退職慰労引当金	899		926		27
その他	131,513		86,309		△ 45,203
<b>負 債 合 計</b>	<b>1,217,305</b>	<b>40.1</b>	<b>1,410,697</b>	<b>41.4</b>	<b>193,392</b>
( 少 数 株 主 持 分 )					
少数株主持分	57,561	1.9	-	-	△ 57,561
( 資 本 の 部 )					
資 本 金	100,000	3.3	-	-	△ 100,000
資 本 剰 余 金	736,400	24.2	-	-	△ 736,400
利 益 剰 余 金	972,511	32.0	-	-	△ 972,511
その他有価証券評価差額金	35,531	1.2	-	-	△ 35,531
為替換算調整勘定	△ 7,353	△ 0.2	-	-	7,353
自 己 株 式	△ 74,578	△ 2.5	-	-	74,578
<b>資 本 合 計</b>	<b>1,762,511</b>	<b>58.0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>△ 1,762,511</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>3,037,378</b>	<b>100.0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>△ 3,037,378</b>
( 純 資 産 の 部 )					
<b>株 主 資 本</b>	-	-	<b>1,893,134</b>	<b>55.6</b>	<b>1,893,134</b>
資 本 金	-	-	100,000	2.9	100,000
資 本 剰 余 金	-	-	736,400	21.7	736,400
利 益 剰 余 金	-	-	1,131,312	33.2	1,131,312
自 己 株 式	-	-	△ 74,578	△ 2.2	△ 74,578
<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	-	-	<b>37,882</b>	<b>1.1</b>	<b>37,882</b>
その他有価証券評価差額金	-	-	33,843	1.0	33,843
繰延ヘッジ損益	-	-	8,790	0.2	8,790
為替換算調整勘定	-	-	△ 4,751	△ 0.1	△ 4,751
少数株主持分	-	-	63,806	1.9	63,806
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>1,994,823</b>	<b>58.6</b>	<b>1,994,823</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3,405,521</b>	<b>100.0</b>	<b>3,405,521</b>

**(要約) 第3四半期連結損益計算書**

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第3四半期連結会計期間 〔 2005年4月1日から 2005年12月31日まで 〕		当第3四半期連結会計期間 〔 2006年4月1日から 2006年12月31日まで 〕		増減金額	対前年四半期 連結会計期間 増減率	前連結会計年度 〔 2005年4月1日から 2006年3月31日まで 〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比			金 額	百分比
売 上 高	3,550,368	100.0	3,637,470	100.0	87,101	2.5	4,637,657	100.0
売 上 原 価	2,853,342	80.4	2,930,596	80.6	77,254	2.7	3,734,073	80.5
<b>売 上 総 利 益</b>	<b>697,026</b>	<b>19.6</b>	<b>706,873</b>	<b>19.4</b>	9,846	1.4	<b>903,583</b>	<b>19.5</b>
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	445,176	12.5	433,413	11.9	△ 11,762	△ 2.6	596,636	12.9
<b>営 業 利 益</b>	<b>251,849</b>	<b>7.1</b>	<b>273,459</b>	<b>7.5</b>	21,609	8.6	<b>306,946</b>	<b>6.6</b>
営 業 外 収 益	7,219	0.2	17,425	0.5	10,205	141.4	12,655	0.3
受 取 利 息	2,679		6,808		4,128		4,300	
受 取 配 当 金	1,429		1,497		68		1,608	
為 替 差 益	—		5,730		5,730		—	
そ の 他	3,110		3,388		278		6,745	
営 業 外 費 用	15,511	0.4	14,858	0.4	△ 653	△ 4.2	21,759	0.5
支 払 利 息	4,494		4,793		299		5,775	
為 替 差 損	1,585		—		△ 1,585		2,892	
た ば こ 災 害 援 助 金	891		3,530		2,639		863	
共 済 年 金 給 付 費 用	2,305		2,034		△ 270		3,074	
そ の 他	6,235		4,499		△ 1,735		9,153	
<b>経 常 利 益</b>	<b>243,558</b>	<b>6.9</b>	<b>276,026</b>	<b>7.6</b>	<b>32,468</b>	<b>13.3</b>	<b>297,842</b>	<b>6.4</b>
特 別 利 益	46,527	1.3	41,048	1.1	△ 5,478	△ 11.8	65,453	1.4
固 定 資 産 売 却 益	41,312		38,827		△ 2,484		60,036	
そ の 他	5,214		2,221		△ 2,993		5,416	
特 別 損 失	35,910	1.0	13,241	0.3	△ 22,668	△ 63.1	62,302	1.3
固 定 資 産 売 却 損	24,258		2,923		△ 21,334		24,875	
固 定 資 産 除 却 損	3,516		4,310		793		12,279	
事 業 構 造 強 化 費 用	6,187		—		△ 6,187		8,009	
成 人 識 別 自 販 機 導 入 費 用	—		1,693		1,693		—	
そ の 他	1,947		4,314		2,366		17,137	
税金等調整前四半期(当期)純利益	<b>254,174</b>	<b>7.2</b>	<b>303,833</b>	<b>8.4</b>	<b>49,659</b>	<b>19.5</b>	<b>300,993</b>	<b>6.5</b>
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	86,210	2.5	106,533	3.0	20,323	23.6	49,686	1.1
法 人 税 等 調 整 額	—	—	—	—	—	—	45,209	1.0
少 数 株 主 利 益	3,938	0.1	3,813	0.1	△ 124	△ 3.2	4,555	0.1
<b>四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益</b>	<b>164,025</b>	<b>4.6</b>	<b>193,485</b>	<b>5.3</b>	<b>29,460</b>	<b>18.0</b>	<b>201,542</b>	<b>4.3</b>

## (要約) 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	期 別		増減金額	前連結会計年度 (2005年4月1日から 2006年3月31日まで)
	前第3四半期連結会計期間 (2005年4月1日から 2005年12月31日まで)	当第3四半期連結会計期間 (2006年4月1日から 2006年12月31日まで)		
	金 額	金 額		金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前四半期(当期)純利益	254,174	303,833	49,659	300,993
減価償却費	92,628	95,595	2,966	124,854
固定資産除売却損益	△ 16,464	△ 33,036	△ 16,571	△ 30,018
連結調整勘定償却額	1,233	—	△ 1,233	1,590
のれん償却額	—	2,053	2,053	—
退職給付引当金の増減額(減少: △)	△ 3,060	△ 9,489	△ 6,429	△ 6,591
受取利息及び受取配当金	△ 4,109	△ 8,305	△ 4,196	△ 5,909
支払利息	4,494	4,793	299	5,775
売上債権の増減額(増加: △)	△ 28,478	△ 40,247	△ 11,768	765
たな卸資産の増減額(増加: △)	11,675	△ 26,635	△ 38,311	44,091
仕入債務の増減額(減少: △)	29,942	4,119	△ 25,823	20,260
未払金の増減額(減少: △)	△ 133,968	△ 30,712	103,255	△ 125,688
未払たばこ税等の増減額(減少: △)	71,730	191,392	119,661	△ 13,972
長期未払金の増減額(減少: △)	△ 75,611	△ 41,205	34,406	△ 87,376
その他	△ 24,972	△ 12,377	12,595	△ 19,613
小 計	<b>179,214</b>	<b>399,778</b>	<b>220,563</b>	<b>209,158</b>
利息及び配当金の受取額	4,222	8,445	4,223	5,910
利息の支払額	△ 4,776	△ 4,921	△ 144	△ 5,712
法人税等の支払額	△ 54,436	△ 53,433	1,002	△ 59,014
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>124,224</b>	<b>349,869</b>	<b>225,644</b>	<b>150,342</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有価証券の取得による支出	△ 122,928	△ 330,492	△ 207,563	△ 145,933
有価証券の売却及び償還による収入	42,703	381,269	338,565	121,700
有形固定資産の取得による支出	△ 64,308	△ 69,084	△ 4,775	△ 82,850
有形固定資産の売却による収入	52,914	46,778	△ 6,135	82,146
無形固定資産の取得による支出	△ 7,461	△ 6,276	1,184	△ 8,966
投資有価証券の取得による支出	△ 1,486	△ 1,601	△ 115	△ 2,733
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,108	4,990	1,882	4,341
連結範囲変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 145	△ 4,049	△ 3,904	△ 1,400
連結範囲変更を伴う子会社株式の売却による支出	△ 143	△ 387	△ 243	△ 143
その他	5,994	△ 767	△ 6,762	7,480
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 91,753</b>	<b>20,378</b>	<b>112,132</b>	<b>△ 26,357</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の純増減額	△ 1,546	11,663	13,210	1,552
長期借入による収入	243	—	△ 243	—
長期借入金の返済による支出	△ 10,443	△ 10,271	171	△ 19,473
少数株主からの払込による収入	—	4,927	4,927	—
配当金の支払額	△ 28,740	△ 34,488	△ 5,748	△ 28,740
少数株主への配当金支払額	△ 940	△ 1,004	△ 64	△ 1,467
その他	△ 20	△ 227	△ 206	△ 5
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 41,447</b>	<b>△ 29,400</b>	<b>12,046</b>	<b>△ 48,134</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>8,576</b>	<b>3,033</b>	<b>△ 5,543</b>	<b>15,204</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少: △)</b>	<b>△ 398</b>	<b>343,880</b>	<b>344,279</b>	<b>91,054</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>829,087</b>	<b>920,141</b>	<b>91,054</b>	<b>829,087</b>
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高</b>	<b>828,688</b>	<b>1,264,022</b>	<b>435,333</b>	<b>920,141</b>

## 【セグメント情報】

### 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間（2005年4月1日から2005年12月31日まで）

（単位：百万円）

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部売上高	2,631,986	649,414	38,862	212,743	17,360	3,550,368	-	3,550,368
(2)セグメント間内部 売上高又は振替高	30,867	34,989	-	106	16,868	82,831	(82,831)	-
計	2,662,854	684,404	38,862	212,850	34,229	3,633,199	(82,831)	3,550,368
営業費用	2,486,149	624,773	41,531	207,382	28,262	3,388,100	(89,581)	3,298,518
営業利益又は営業損失（ ）	176,704	59,630	2,669	5,467	5,966	245,099	6,750	251,849

当第3四半期連結会計期間（2006年4月1日から2006年12月31日まで）

（単位：百万円）

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部売上高	2,624,929	742,445	36,061	218,501	15,532	3,637,470	-	3,637,470
(2)セグメント間内部 売上高又は振替高	31,852	17,863	-	91	17,120	66,927	(66,927)	-
計	2,656,781	760,308	36,061	218,592	32,653	3,704,397	(66,927)	3,637,470
営業費用	2,459,992	689,404	43,448	211,936	25,882	3,430,665	(66,654)	3,364,010
営業利益又は営業損失（ ）	196,788	70,904	7,387	6,656	6,770	273,732	272	273,459

前連結会計年度（2005年4月1日から2006年3月31日まで）

（単位：百万円）

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部売上高	3,405,281	881,187	49,256	278,378	23,552	4,637,657	-	4,637,657
(2)セグメント間内部 売上高又は振替高	41,553	36,913	-	122	25,212	103,803	(103,803)	-
計	3,446,835	918,101	49,256	278,501	48,765	4,741,460	(103,803)	4,637,657
営業費用	3,226,740	847,071	54,313	272,175	40,091	4,440,392	(109,682)	4,330,710
営業利益又は営業損失（ ）	220,095	71,030	5,057	6,325	8,673	301,067	5,879	306,946

（注）1．事業区分は、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分しております。

2．各事業区分の主要製品（商品又は役務を含む）

(1) 国内たばこ...製造たばこ（国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場におけるたばこ事業を含んでおります。）

(2) 海外たばこ...製造たばこ

(3) 医薬.....医薬品

(4) 食品.....清涼飲料水、加工食品

(5) その他.....不動産賃貸、リース、エンジニアリング他

3．前第3四半期連結会計期間、当第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度において、営業費用に含まれているセグメント別の減価償却費、連結調整勘定償却額及びのれん償却額は以下のとおりです。

減価償却費（有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用）

（単位：百万円）

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は全社	連結
前第3四半期連結会計期間	63,971	16,564	2,442	3,781	10,182	96,943	(4,314)	92,628
当第3四半期連結会計期間	58,955	22,861	2,214	2,866	9,130	96,028	(433)	95,595
前連結会計年度	84,570	23,061	3,253	5,041	13,466	129,394	(4,539)	124,854

連結調整勘定償却額

（単位：百万円）

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	連結
前第3四半期連結会計期間	816	-	-	417	-	1,233
前連結会計年度	1,088	-	-	501	-	1,590

のれん償却額

（単位：百万円）

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	連結
当第3四半期連結会計期間	845	-	-	1,207	-	2,053

4．国内たばこセグメントには当社の連結子会社であるTSネットワーク㈱を含んでおり、同社は当社たばこ製品の配送業務等のほか外国たばこ製品（輸入たばこ製品）の卸売販売等の業務を行っております。なお、同社を通じて販売される輸入たばこ製品の売上高は以下のとおりです。

（単位：百万円）

前第3四半期連結会計期間	887,641
当第3四半期連結会計期間	933,332
前連結会計年度	1,160,744

5．「海外たばこ」に区分したJT International S.A. を中核とする海外連結子会社グループの第3四半期決算日は9月30日であり、2006年1月1日から2006年9月30日までを当第3四半期連結会計期間に計上しております。

## 2007年3月期 第3四半期決算短信添付資料（決算説明会資料）



### 当資料取扱上の注意点

#### 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



## 第3四半期決算及び業績予想のポイント

### 中期経営計画「JT2008」の実現に向けた施策を着実に実行

#### ■ 2007年3月期 第3四半期決算

- ◆ 引き続き増益基調を維持

#### ■ 2007年3月期 業績予想

- ◆ 対中間時見込  
EBITDA、営業利益は、国内たばこ事業のコスト減、海外たばこ事業の利益成長により、上方修正  
経常利益、当期純利益は、買収に備えた資金調達に関連する費用を織り込み、下方修正
- ◆ 対前年実績  
修正予想は各利益指標で過去最高益、EBITDAは前年比+約180億円の成長を見込む

## 2007年3月期 第3四半期実績

#### ■ 業績ハイライト

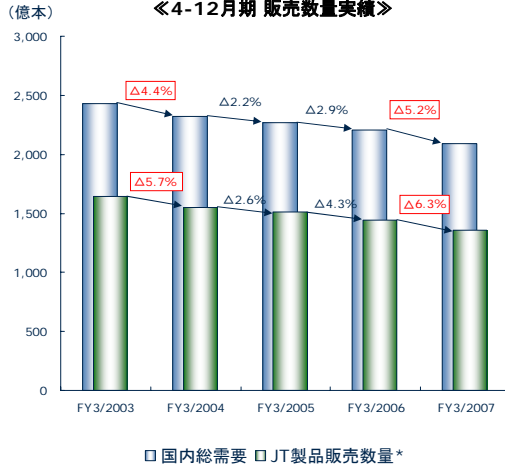
- ◆ 引き続き、増益基調を維持

(単位:億円)

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
税込売上高	35,503	36,374	871
税抜売上高	15,315	15,631	315
EBITDA	3,457	3,711	253
営業利益	2,518	2,734	216
経常利益	2,435	2,760	324
四半期純利益	1,640	1,934	294

## 2007年3月期 第3四半期実績（国内たばこ事業）

《4-12月期 販売数量実績》



□ 国内総需要 □ JT製品販売数量\*  
 \*新ベース=JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)

2006年10月

- ◆ キャビン・ワン・テイスティ・100s・ボックス等5銘柄を新発売（地域限定テスト販売）

2006年12月

- ◆ マイルドセブンのソフトパック製品等9銘柄のデザインを変更
- ◆ マイルドセブン・スーパーライト・100s・ボックスを新発売（地域限定テスト販売）
- ◆ キャビン・ワン・テイスティ・100s・ボックスを全国発売



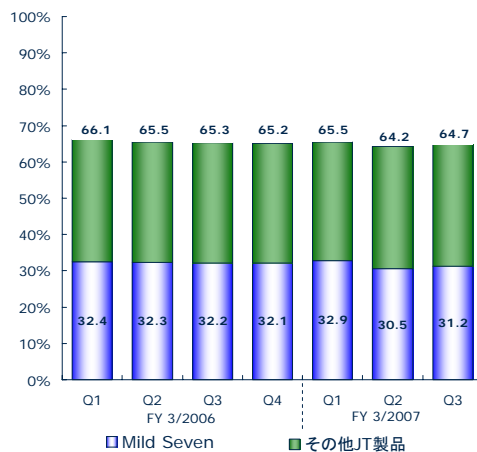
5



## 2007年3月期 第3四半期実績（国内たばこ事業）

※ 販売数量減をコスト減、販売単価増等により克服し、増益を確保

《JT製品の市場シェア\*》



\*新ベース=JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)

(単位: 億円)

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
税抜売上高	9,067	8,844	△ 222
EBITDA	2,414	2,565	150
営業利益	1,767	1,967	200

(単位: 億本)

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
JT製品販売数量	1,472	1,355	△ 116

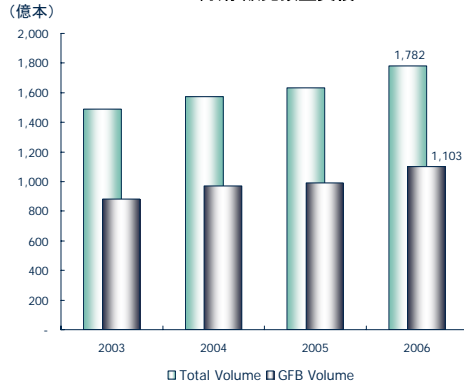
6



## 2007年3月期 第3四半期実績（海外たばこ事業）

■ ス페인市場での価格競争の影響を受けるも、前年を上回る実績

《1-9月期 販売数量実績》



	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
税抜売上高	3,558	4,085	526
EBITDA	761	937	175
営業利益	596	709	112
円ドルレート(円)	107.90	115.90	8.00

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
(参考) JTへのロイヤリティ支払い前 EBITDA※	756	902	146

※比較可能ベース: 日本市場移管影響を除く

(注) 海外たばこ事業は2006年1-9月期の実績

7



## 2007年3月期 第3四半期実績（医薬事業）

■ 開発品の着実なステージアップとR&Dパイプラインの充実を推進

臨床開発品目(2007年2月8日現在)

開発名	適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質代謝異常	国内:Phase1
JTT-130(経口)	高脂血症	国内:Phase2 海外:Phase2
JTK-303(経口)	HIV	国内:Phase1
JTT-302(経口)	脂質代謝異常	海外:Phase1
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内:Phase2 海外:Phase1
JTT-551(経口)	2型糖尿病	国内:Phase1 海外:Phase1
JTT-552(経口)	高尿酸血症	国内:Phase1

第1四半期に進展

第2四半期に進展

第3四半期に進展

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
売上高	388	360	△ 28
EBITDA	△ 2	△ 51	△ 49
営業利益	△ 26	△ 73	△ 47

8



## 2007年3月期 第3四半期実績（食品事業）

※ 計画に沿って順調に進展

（単位：億円）

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
売上高	2,127	2,185	57
EBITDA	96	107	10
営業利益	54	66	11



ルーツ「アロマブラック」



「お弁当大人気！」シリーズ  
「ミニ春巻き」



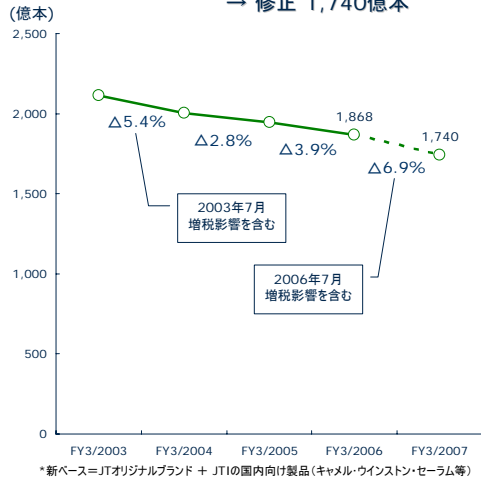
「いまどき和膳」シリーズ  
「れんこんはさみ揚げ」

## 2007年3月期 業績予想

## 2007年3月期 業績予想（国内たばこ事業）

### ■ JT製品販売見込み

- ◆ 中間時 1,760億本  
→ 修正 1,740億本



### ■ ブランド・エクイティの向上

- ◆ マイルドセブン・ブランドの強化  
-2006年12月より「The Blue Collection」キャンペーンを開始



- 2007年2月よりマイルドセブン・スーパーライト・100's・ボックスを全国拡販



11



## 2007年3月期 業績予想（国内たばこ事業）

- ◆ 対中間時見込  
総需要の減少により、税込売上高を下方修正  
EBITDA・営業利益は、販売数量の減少を、コスト減等により克服し、上方修正
- ◆ 対前年実績  
価格改定効果、葉たばこ評価洗替差損益の改善等により、利益は前年度を上回る見通し

(単位:億円)

	2006年3月期 実績 A	2007年3月期 中間時見込 B	2007年3月期 今回見込 C	中間時見込比 差異 C-B	前年比増減 C-A
税込売上高	34,052	34,300	33,970	△ 330	△ 82
EBITDA	3,057	3,130	3,160	30	102
営業利益	2,200	2,290	2,340	50	139

【主な前提条件】

(単位:億本)

JT製品販売数量	1,894	1,760	1,740	△ 20	△ 154
----------	-------	-------	-------	------	-------

12



## 2007年3月期 業績予想（海外たばこ事業）

- ◆ 対中間時見込  
中間時見込どおり、「10%台半ばのEBITDA成長」を達成する見通し
- ◆ 対前年実績  
6年連続となるEBITDA二桁成長を持續できる見通し

(単位: 億円)

	2005年 実績 A	2006年 中間時見込 B	2006年 今回見込 C	前年比増減 C-A	% (C-A)/A
税込売上高	8,811	9,900	9,990	1,178	13.4
EBITDA	940	1,090	1,120	179	19.0
営業利益	710	780	810	99	14.0

(参考) JTへのロイヤリティ支払い前

(単位: 百万USドル)

	2005年 実績 A	2006年 中間時見込 B	2006年 今回見込 C	前年比増減 C-A	% (C-A)/A
EBITDA※	925	1,070	1,090	165	17.8

※比較可能ベース: 日本市場移行影響を除く

	2005年 実績 A	2006年 中間時見込 B	2006年 実績(速報値) C	前年比増減 C-A	% (C-A)/A
総販売数量(億本)	2,203	2,390	2,401	198	9.0
CFB販売数量(億本)	1,338	1,470	1,491	153	11.4
円ドルレート(円)	110.26	116.00	116.38	6.12	

(注) 海外たばこ事業は2006年1-12月期の見込

13



## 2007年3月期 業績予想（医薬事業、食品事業）

### ■ 医薬事業

- ◆ 対中間時見込: 導出に伴う一時的収入等を織り込み、売上・利益ともに微増
- ◆ 対前年実績: 研究開発費の増、鳥居薬品(株)の減益予想等により、減益の見通し

(単位: 億円)

	2006年3月期 実績 A	2007年3月期 中間時見込 B	2007年3月期 今回見込 C	中間時見込比 差異 C-B	前年比増減 C-A
売上高	492	445	450	5	△ 42
EBITDA	△ 18	△ 95	△ 90	5	△ 71
営業利益	△ 50	△ 125	△ 120	5	△ 69

### ■ 食品事業

- ◆ 対中間時見込: ほぼ中間期見込みどおり進捗
- ◆ 対前年実績: 事業量の拡大により増収、利益は前年並の見通し

(単位: 億円)

	2006年3月期 実績 A	2007年3月期 中間時見込 B	2007年3月期 今回見込 C	中間時見込比 差異 C-B	前年比増減 C-A
売上高	2,783	2,860	2,860	0	76
EBITDA	118	120	120	0	1
営業利益	63	70	65	△ 5	1

14



## 2007年3月期 業績予想

### ■ 対中間時見込

EBITDA・営業利益は、国内たばこ事業のコスト減、海外たばこ事業の伸張により上方修正  
 経常利益・当期純利益は、買収に備えた資金調達に関連する費用を織り込み、下方修正

### ■ 対前年実績

EBITDA・営業利益・経常利益・当期純利益はいずれも過去最高益を更新する見込み

(単位:億円)

	2006年3月期 実績 A	2007年3月期 中間時見込 B	2007年3月期 今回見込 C	中間時見込比 差異 C-B	前年比増減 C-A
税込売上高	46,376	47,700	47,400	△ 300	1,023
EBITDA	4,333	4,440	4,520	80	186
営業利益	3,069	3,080	3,180	100	110
経常利益	2,978	3,100	2,980	△ 120	1
当期純利益	2,015	2,060	2,020	△ 40	4
ROE(%)	12.4	11.2	10.9	△ 0.3pt	△ 1.5pt
FCF	1,455	3,540	3,640	100	2,184

(このスライドは空白です)

## 【参考資料】

### 2007年3月期第3四半期実績および 2007年3月期業績予想における増減要因の分析



## 当資料取扱上の注意点

### 将来に関する記述等についてのご注意

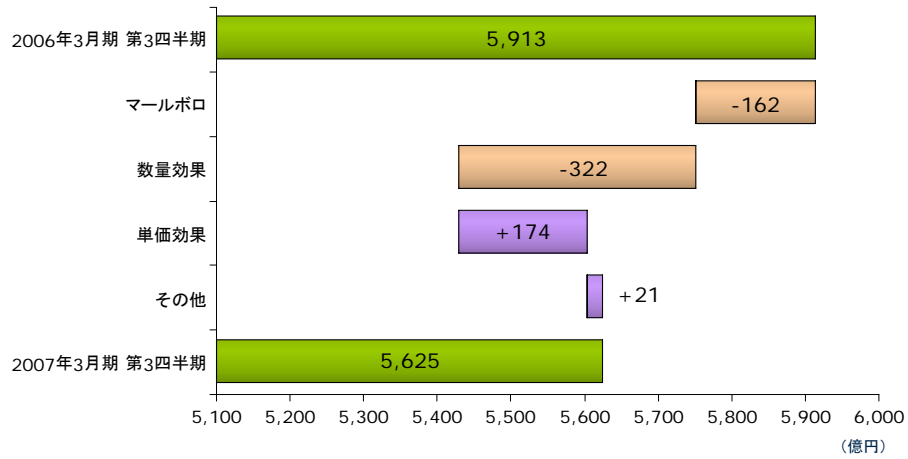
本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



## 2007年3月期 第3四半期実績

### 国内たばこ事業 税抜売上高（輸入たばこを除く）

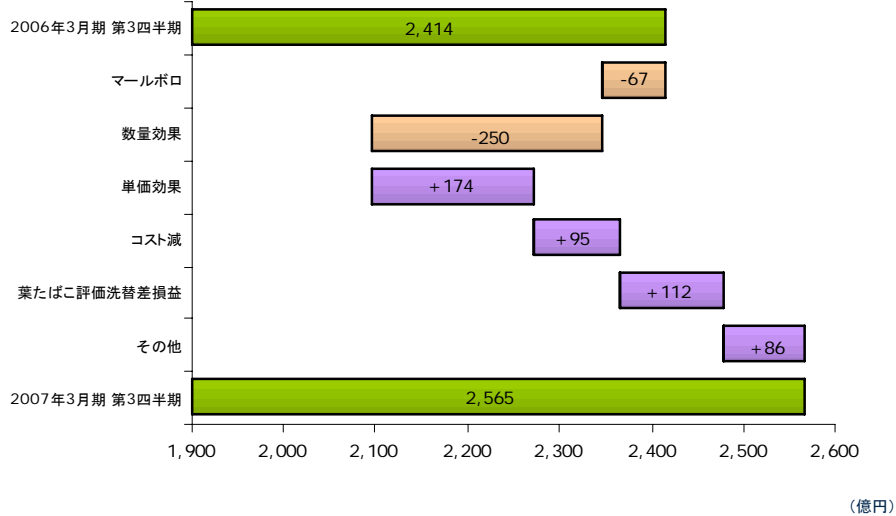


19



## 2007年3月期 第3四半期実績

### 国内たばこ事業 EBITDA



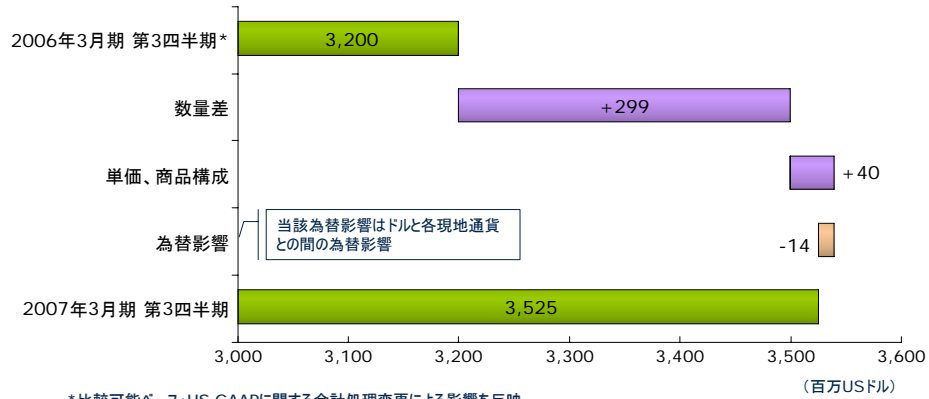
(億円)

20



## 2007年3月期 第3四半期実績

### ■ 海外たばこ事業 税抜売上高



(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業税抜売上高 3,558億円 → 4,085億円 (526億円増)

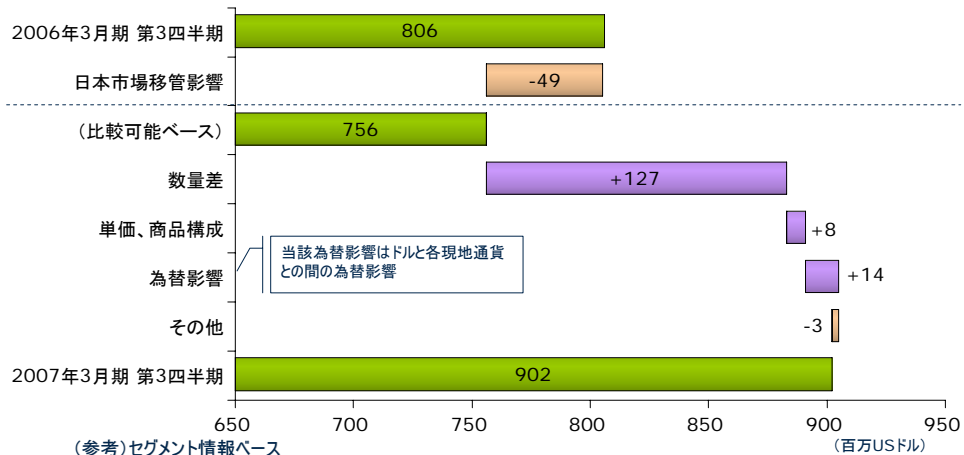
21



## 2007年3月期 第3四半期実績

### ■ 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)

比較可能ベース: 756 百万ドル ⇒ 902 百万ドル (対前年+19.3%増)



(参考)セグメント情報ベース

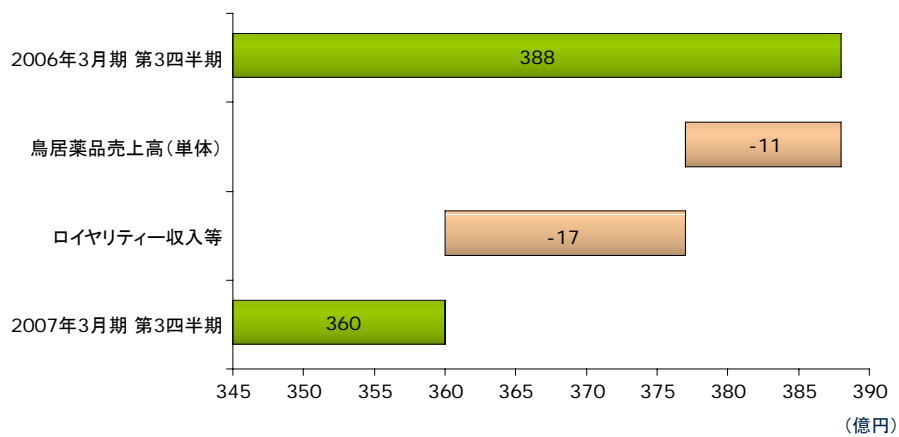
海外たばこ事業EBITDA 761億円 → 937億円 (175億円増)

22



## 2007年3月期 第3四半期実績

### ■ 医薬事業 売上高

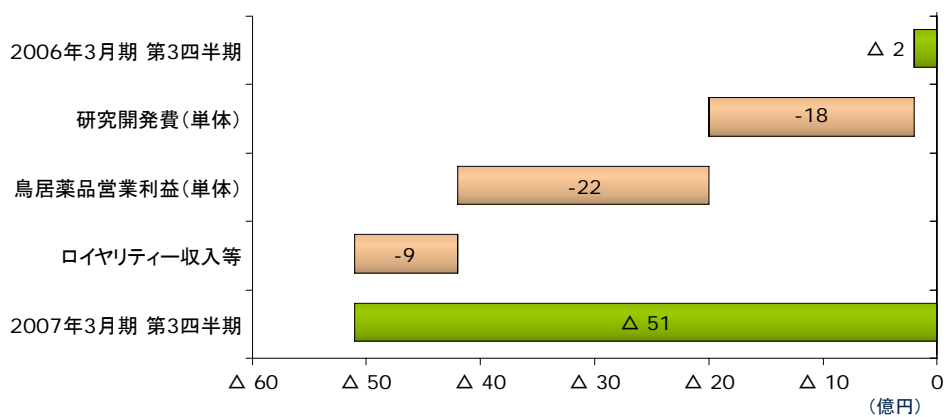


23



## 2007年3月期 第3四半期実績

### ■ 医薬事業 EBITDA

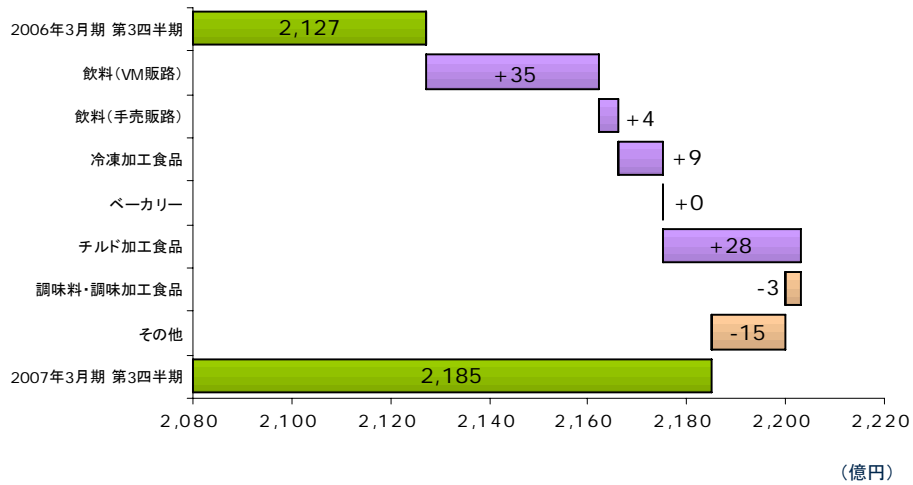


24



## 2007年3月期 第3四半期実績

### ■ 食品事業 売上高

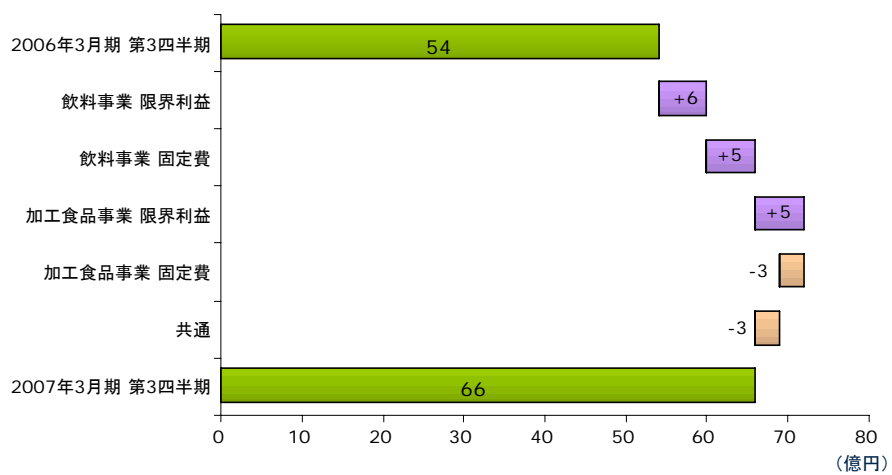


25



## 2007年3月期 第3四半期実績

### ■ 食品事業 営業利益

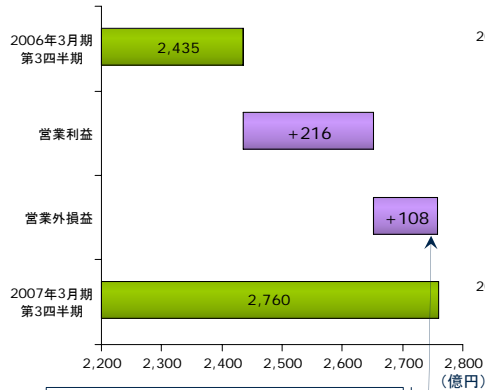


26



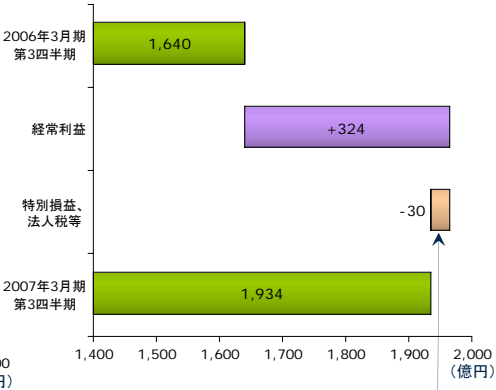
## 2007年3月期 第3四半期実績

### ■ 経常利益



**改善要因:** 為替差損益の改善 +73億円  
受取利息の増 +41億円  
**悪化要因:** たばこ災害援助金の増 △26億円

### ■ 当期純利益

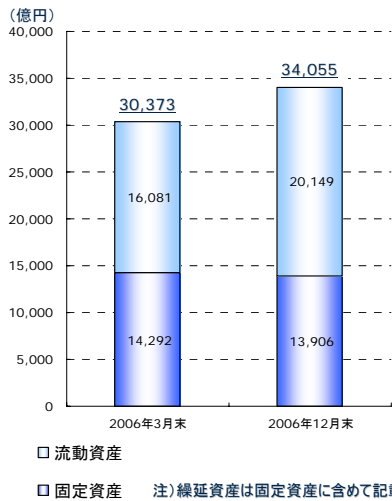


**改善要因:** 固定資産売却損の減 +213億円  
事業構造強化費用の減 +61億円 等  
**悪化要因:** 法人税等の増 △203億円  
固定資産売却益の減 △24億円  
成人識別自販機導入費用 △16億円 等

(このスライドは空白です)

## 2007年3月期 第3四半期連結貸借対照表のポイント

### ■ 資産の部



2006年3月末との比較 ( )内は主な要因

#### ■ 流動資産は4,067億円増加

- ◆ 手元流動性\*の増加(事業活動) +2,953億円  
\*手元流動性=現金+有価証券+現金
- ◆ 営業債権\*の増加(事業活動) +440億円  
\*営業債権=受取手形及び売掛金

#### ■ 固定資産は386億円減少

- ◆ 設備投資による増加 +710億円
- ◆ 減価償却\*による減少 △976億円  
\*減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

## 2007年3月期 第3四半期連結貸借対照表のポイント

### ■ 負債・純資産の部



2006年3月末との比較 ( )内は主な要因

#### ■ 負債合計は1,933億円増加

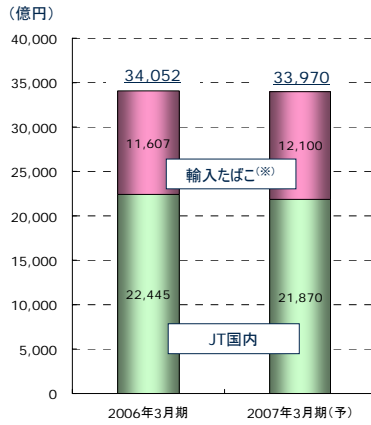
- ◆ 有利子負債\*の増加(短期借入金の増)+46億円  
\*有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金
- ◆ 未払たばこ税等\*の増加(期末日休日)+1,916億円  
\*未払たばこ税等=未払たばこ税+未払たばこ特別税+未払地方たばこ税

#### ■ 純資産合計は1,747億円増加

- ◆ 利益剰余金の増加 +1,588億円
  - ◆ 少数株主持分の増加 +62億円
- 自己資本比率 58.0% → 56.7%

## 2007年3月期 業績予想\_対前年度実績

### 国内たばこ事業 税込売上高



#### 【主な増加要因】

- ・輸入たばこの増 11,607億円→12,100億円(+492億円)
- ・増税に伴う定価改定によるJT製品の税込単価増

#### 【主な減少要因】

- ・マールポロ販売数量の減(△33億本)
- ・JT販売数量の減(△121億本)  
(1,894億本 → 1,740億本 △154億本)

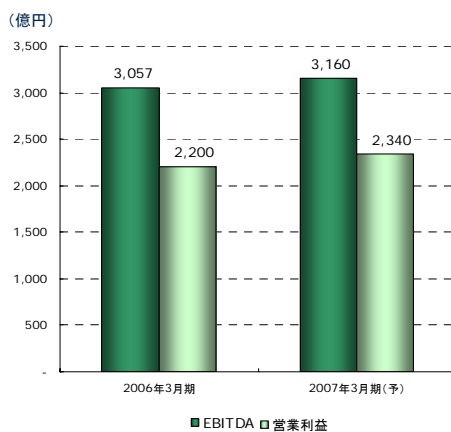
※連結決算上、国内たばこ事業売上高には、子会社であるTSネットワーク(株)が取り扱う輸入たばこ製品の売上高を含んでいる。

31



## 2007年3月期 業績予想\_対前年度実績

### 国内たばこ事業 EBITDA / 営業利益



#### 【主な増加要因】

- ・単価アップ +約245億円
- ・葉たばこ評価洗替差損益の改善 +189億円
- ・コスト減 +約45億円
- ・その他 +約50億円

#### 【主な減少要因】

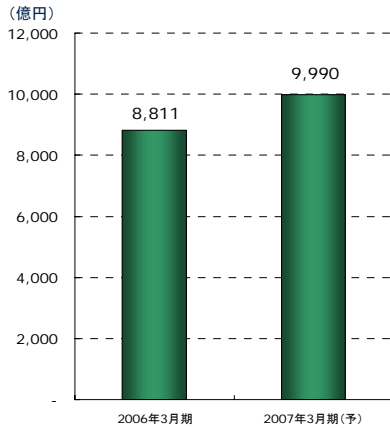
- ・マールポロ販売数量の減(△33億本) △約67億円
- ・JT販売数量(マールポロ除)の減(△121億本) △約360億円

32



## 2007年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 海外たばこ事業 税込売上高



【主な増加要因】  
成熟・新興双方市場でのバランスの取れた成長

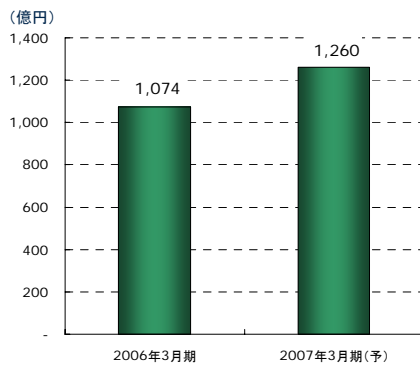
(参考) 連結円ドルレート 110.26円 → 116.38円 (6.12円安)

33



## 2007年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)



【主な増加要因】  
・GFBへの注力とブランド・ポートフォリオの拡充による、中核市場でのトップライン成長

(参考)セグメント情報ベース

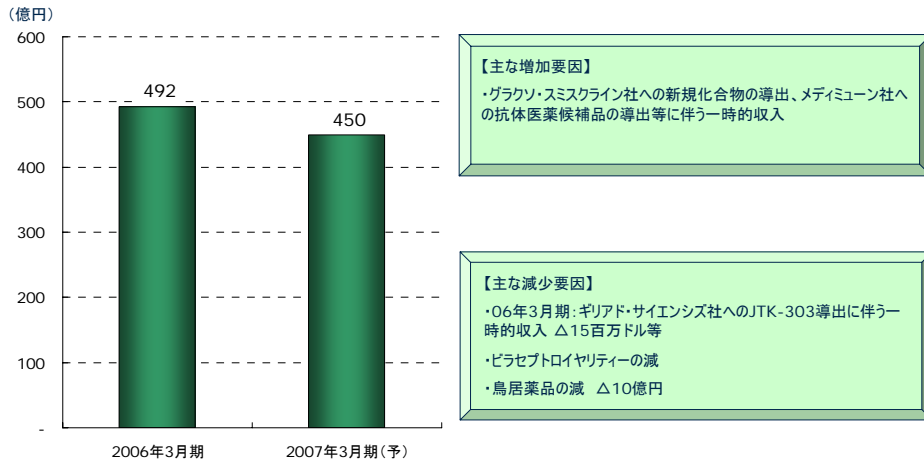
海外たばこ事業EBITDA	940億円 → 1,120億円 (179億円増)
海外たばこ事業営業利益	710億円 → 810億円 (99億円増)
連結円ドルレート	110.26円 → 116.38円 (6.12円安)

34



## 2007年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 医薬事業 売上高

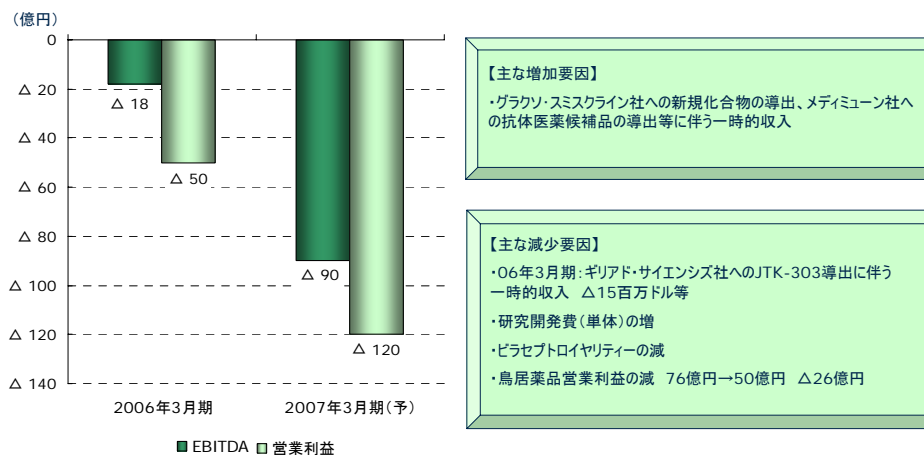


35



## 2007年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 医薬事業 EBITDA / 営業利益

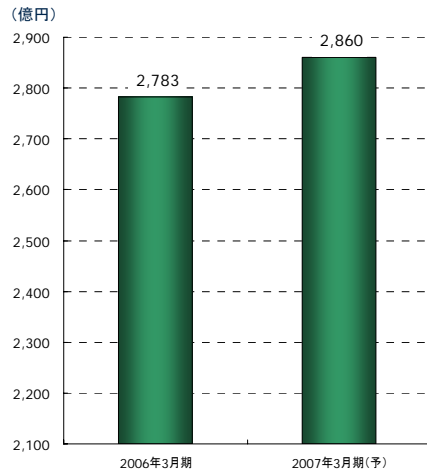


36



## 2007年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 食品事業 売上高



#### 【主な増加要因】

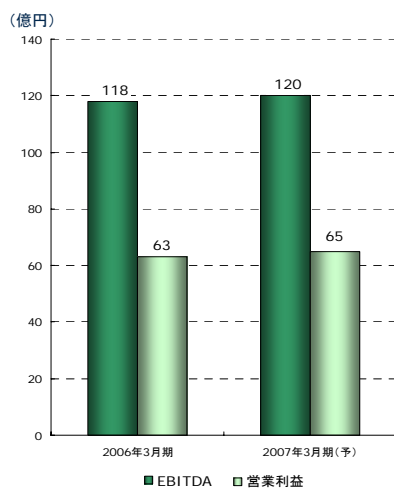
- ・飲料事業における自動販売機販路の着実な伸長
- ・冷凍加工食品における差別性ある商品の開発・投入
- ・チルド加工食品の伸長

37



## 2007年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 食品事業 EBITDA / 営業利益



#### 【主な増加要因】

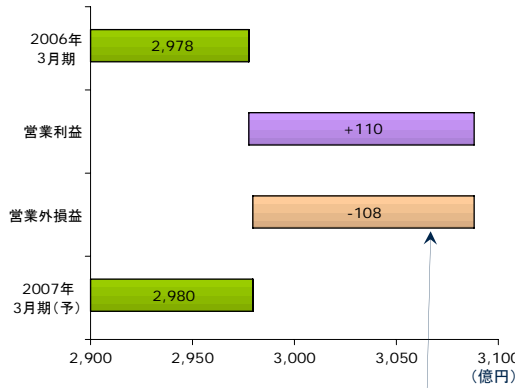
- ・売上げの増加に伴う限界利益増

38



## 2007年3月期 業績予想\_対前年度実績

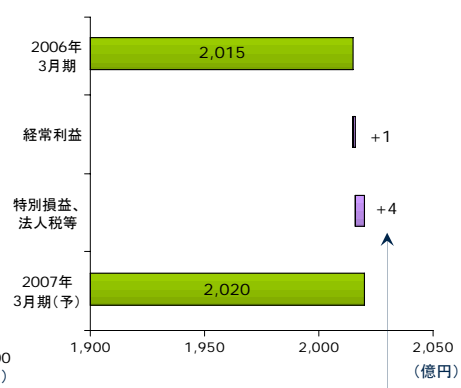
### 経常利益



**改善要因:** 為替差損益の改善  
受取利息の増

**悪化要因:** 買収に備えた資金調達に関連する費用  
たばこ災害援助金の増

### 当期純利益



**改善要因:** 固定資産除売却損失の減  
減損損失の減  
事業構造強化費用の減 等

**悪化要因:** 成人識別自販機導入費用 △約70億円  
固定資産売却益の減  
法人税等の増 等

2007年3月期 第3四半期決算データ集(1)

1. 売上高の内訳

(単位: 億円)

	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
全社税込売上高	35,503	36,374	871
国内たばこ事業	26,319	26,249	△ 70
除く輸入たばこ	17,443	16,915	△ 527
海外たばこ事業 <sup>(注)</sup>	6,494	7,424	930
全社税抜売上高(除く輸入たばこ)	12,161	12,411	250
国内たばこ事業	5,913	5,625	△ 288
海外たばこ事業 <sup>(注)</sup>	3,558	4,085	526
医薬事業	388	360	△ 28
食品事業	2,127	2,185	57
飲料事業	1,424	1,462	38
加工食品事業	702	722	19
その他事業	173	155	△ 18

(注): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

2. 葉たばこ評価洗替差損益<sup>(注)</sup>

(単位: 億円)

	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	42	△ 70	△ 112

(注): マイナス表示の場合は評価益

3. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 億円)

	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
販売費及び一般管理費	4,451	4,334	△ 117
人件費 <sup>(注)</sup>	1,136	1,145	8
広告宣伝費	172	167	△ 4
販売促進費	1,068	937	△ 131
研究開発費	282	311	29
減価償却費	400	428	27
その他	1,391	1,344	△ 47

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

4. 事業セグメント別EBITDA<sup>(注1)</sup>

(単位: 億円)

	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
全社EBITDA	3,457	3,711	253
営業利益	2,518	2,734	216
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	938	976	37
国内たばこ事業EBITDA	2,414	2,565	150
営業利益	1,767	1,967	200
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	647	598	△ 49
海外たばこ事業EBITDA <sup>(注3)</sup>	761	937	175
営業利益	596	709	112
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	165	228	62
医薬事業EBITDA	△ 2	△ 51	△ 49
営業利益	△ 26	△ 73	△ 47
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	24	22	△ 2
食品事業EBITDA	96	107	10
営業利益	54	66	11
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	41	40	△ 1
その他事業EBITDA	161	159	△ 2
営業利益	59	67	8
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	101	91	△ 10

(参考) (単位: 百万ドル)

海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティ支払前)	806	902	97
------------------------------	-----	-----	----

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費<sup>(注2)</sup>

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

5. 主要投資案件の諸償却費

(単位: 億円)

	05年4-12月期	06年4-12月期	償却年数	終了
JTインターナショナル	258	258	-	-
商標権(JT保有分)	220	219	10年	09年4月
特許権(JT保有分)	30	30	8年	07年4月
のれん <sup>(注)</sup>	8	8	20年	25年3月
ジャパンビハレツ				
のれん	2	3	5年	07年3月

(注): USGAAPにおける減損会計の導入により、2002年3月期をもって、JTインターナショナルにおける定期・定額  
のれん償却は終了。以降は毎年、減損テストを行った上で、減損金額を決定している。  
なお、2005年度より、国内たばこ事業セグメントに割り当てた当該のれんの一部について、20年で償却を開  
始した。

6. 資本的支出

(単位: 億円)

	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
資本的支出	712	710	△ 1
国内たばこ事業	645	393	△ 251
海外たばこ事業 <sup>(注)</sup>	149	209	60
医薬事業	13	22	9
食品事業	31	31	0
その他事業	117	61	△ 56

(注): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

7. 手元流動性<sup>(注)</sup>

(単位: 億円)

	06年3月末	06年12月末	増減
手元流動性	9,796	12,750	2,953

(注): 手元流動性=現預金+有価証券+現金

8. 有利子負債<sup>(注)</sup>

(単位: 億円)

	06年3月末	06年12月末	増減
有利子負債	2,166	2,212	46

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金

9. 主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
JT販売数量 <sup>(注)</sup>	1,472	1,355	△ 116
国内総需要	2,204	2,089	△ 115
JT販売数量シェア	66.8%	64.9%	△ 1.9%pt
JT千本当税込売上高	11,675	12,276	601
JT千本当税抜売上高	3,866	3,971	105

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2006  
年4-12月期25億本、2005年4-12月期24億本。

【海外たばこ事業】	05年1-9月期	06年1-9月期	増減
販売数量	1,635	1,782	147
GFB販売数量	992	1,103	111
連結円ドルレート	107.90	115.90	8.00

【医薬事業】	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
ピラセトロイリシティ収入	38	32	△ 5
研究開発費(単体)	146	164	18

【食品事業-飲料事業】	06年3月末	06年12月末	増減
自動販売機台数 <sup>(注)</sup>	237,000	247,500	10,500
うちマーキング機	40,500	38,500	△ 2,000
うちコンビ機	61,500	65,500	4,000

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・フック等)及びカップ機を含む。  
「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社  
の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

2007年3月期 第3四半期決算データ集(2)

1. 2007年3月期連結業績予想(中間時見込比較)

(単位:億円)

	中間時見込	今回見込	増減
税込売上高	47,700	47,400	△ 300
除く輸入たばこ	35,510	35,300	△ 210
EBITDA	4,440	4,520	80
営業利益	3,080	3,180	100
経常利益	3,100	2,980	△ 120
当期純利益	2,060	2,020	△ 40
ROE(株主資本利益率)	11.2%	10.9%	-0.3%pt
フリーキャッシュフロー <sup>(注)</sup>	3,540	3,640	100

(注):フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから

受取配当金/受取利息とその税影響額(42%)

支払利息とその税影響額(42%)

投資活動CFから

有価証券取得による支出/有価証券売却による収入

投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他

上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの開差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(単位:億円)

	中間時見込	今回見込	増減
資本的支出	1,240	1,120	△ 120
国内たばこ事業	710	620	△ 90
海外たばこ事業	320	320	0
医薬事業	30	30	0
食品事業	50	50	0
その他事業	130	100	△ 30

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	中間時見込	今回見込	増減
税込売上高	47,700	47,400	△ 300
国内たばこ事業	34,300	33,970	△ 330
除く輸入たばこ	22,110	21,870	△ 240
海外たばこ事業	9,900	9,990	90
医薬事業	445	450	5
食品事業	2,860	2,860	0
EBITDA	4,440	4,520	80
国内たばこ事業	3,130	3,160	30
海外たばこ事業	1,090	1,120	30
医薬事業	△ 95	△ 90	5
食品事業	120	120	0
営業利益	3,080	3,180	100
国内たばこ事業	2,290	2,340	50
海外たばこ事業	780	810	30
医薬事業	△ 125	△ 120	5
食品事業	70	65	△ 5

2. 2007年3月期連結業績予想(前期実績比較)

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	46,376	47,400	1,023
除く輸入たばこ	34,769	35,300	530
EBITDA	4,333	4,520	186
営業利益	3,069	3,180	110
経常利益	2,978	2,980	1
当期純利益	2,015	2,020	4
ROE(株主資本利益率)	12.4%	10.9%	-1.5%pt
フリーキャッシュフロー <sup>(注)</sup>	1,455	3,640	2,184

(注):フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから

受取配当金/受取利息とその税影響額(42%)

支払利息とその税影響額(42%)

投資活動CFから

有価証券取得による支出/有価証券売却による収入

投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他

上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの開差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
資本的支出	989	1,120	130
国内たばこ事業	750	620	△ 130
海外たばこ事業	249	320	70
医薬事業	21	30	8
食品事業	45	50	4
その他事業	193	100	△ 93

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	46,376	47,400	1,023
国内たばこ事業	34,052	33,970	△ 82
除く輸入たばこ	22,445	21,870	△ 575
海外たばこ事業	8,811	9,990	1,178
医薬事業	492	450	△ 42
食品事業	2,783	2,860	76
EBITDA	4,333	4,520	186
国内たばこ事業	3,057	3,160	102
海外たばこ事業	940	1,120	179
医薬事業	△ 18	△ 90	△ 71
食品事業	118	120	1
営業利益	3,069	3,180	110
国内たばこ事業	2,200	2,340	139
海外たばこ事業	710	810	99
医薬事業	△ 50	△ 120	△ 69
食品事業	63	65	1

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億本)

	中間時見込	今回見込	増減
販売数量	1,760	1,740	△ 20

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億本、円)

	中間時見込	今回見込	増減
販売数量	2,390	2,401	11
GFB販売数量	1,470	1,491	21
1USDル	116.00	116.38	0.38

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億本)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	1,894	1,740	△ 154

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億本、円)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	2,203	2,401	198
GFB販売数量	1,338	1,491	153
1USDル	110.26	116.38	6.12

# 国内JT製品データ集

(注1): 表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

(注2): 従来ベース: JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマールポロ + 2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

新ベース: JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

## 国内たばこ事業関連係数

### 1. 四半期別販売数量

(単位: 億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	542	556	556	477	2,132
2005年度	505	485	481	422	1,894
2006年度	540	368	446		

(注): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

### 2. 四半期別定価代金

(単位: 億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	7,480	7,670	7,675	6,589	29,416
2005年度	6,947	6,642	6,582	5,780	25,952
2006年度	7,403	5,475	6,646		

(注1): 販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

### 3. 四半期別千本当売上高

(単位: 円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	11,754	11,755	11,752	11,765	11,756
2005年度	11,715	11,653	11,657	11,667	11,674
2006年度	11,663	12,677	12,688		

(注1): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

### 4. 四半期別千本当税抜売上高

(単位: 円)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	3,940	3,942	3,937	3,946	3,941
2005年度	3,901	3,845	3,849	3,857	3,864
2006年度	3,852	4,050	4,050		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	3,844	3,844	3,840	3,845	3,843
2005年度	3,845	3,846	3,849	3,857	3,849
2006年度	3,852	4,050	4,050		

(注): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当税抜売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

### 5. 四半期別シエア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	73.0	73.0	72.7	72.7	72.9
2005年度	69.6	65.4	65.3	65.2	66.4
2006年度	65.5	64.2	64.7		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	66.7	66.6	66.4	66.1	66.5
2005年度	66.1	65.5	65.3	65.2	65.5
2006年度	65.5	64.2	64.7		

## 伸張セグメントシエア

### 1. 四半期別ターール1mgセグメントシエア

①JT タール1mg製品市場シエア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	8.3	8.2	8.6	8.9	8.5
2005年度	10.6	11.7	12.2	12.5	11.7
2006年度	12.4	12.5	13.3		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	10.4	10.3	10.7	11.1	10.6
2005年度	11.3	11.7	12.2	12.5	11.9
2006年度	12.4	12.5	13.3		

②セグメント内シエア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	47.5	46.9	47.3	47.5	47.5
2005年度	55.7	60.4	60.8	61.6	61.6
2006年度	61.3	60.9	62.4		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	59.6	58.6	59.0	59.4	59.4
2005年度	59.7	60.4	60.8	61.6	61.6
2006年度	61.3	60.9	62.4		

### 2. 四半期別メンソールセグメントシエア

①JT メンソール製品市場シエア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	8.6	8.6	9.0	9.3	8.9
2005年度	8.1	6.5	6.6	6.7	7.0
2006年度	6.7	6.9	6.7		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	5.6	5.5	5.8	6.1	5.7
2005年度	6.3	6.5	6.6	6.7	6.5
2006年度	6.7	6.9	6.7		

②セグメント内シエア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	51.7	51.1	52.0	52.5	52.5
2005年度	45.1	34.4	34.9	35.1	35.1
2006年度	35.0	34.1	33.8		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	33.2	32.4	33.8	34.4	34.4
2005年度	34.7	34.4	34.9	35.1	35.1
2006年度	35.0	34.1	33.8		

### 3. 四半期別320円以上製品セグメントシエア

①JT 320円以上製品市場シエア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	11.7	11.8	11.5	12.1	11.8
2005年度	8.8	5.1	5.4	5.9	6.3
2006年度	5.7	5.4	5.2		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	5.0	5.1	4.8	5.1	5.0
2005年度	5.1	5.2	5.4	5.9	5.4
2006年度	5.7	5.4	5.2		

②セグメント内シエア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	53.9	53.8	52.8	53.6	53.6
2005年度	39.1	22.2	23.1	24.5	24.5
2006年度	24.3	22.5	22.6		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	23.2	23.0	22.2	22.8	22.8
2005年度	22.6	22.3	23.2	24.5	24.5
2006年度	24.3	22.5	22.6		

\* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

### 4. 四半期別D-spec製品シエア

(単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	0.91	0.95	0.90	0.94	0.93
2005年度	0.91	1.24	1.78	3.12	1.72
2006年度	4.12	3.84	3.85		

\* ビアニツシモ及びプレミアは2006年3月より、バヴェル・フレアは2006年12月より、

D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目（2007年2月8日現在）

開発名	開発段階	適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase1	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	高脂血症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害剤	米国ギリアド・サイエンズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-302 (経口)	海外：Phase1	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase1	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-551 (経口)	国内：Phase1 海外：Phase1	2型糖尿病	PTP1B（チロシン脱リン酸化酵素1B）阻害	インスリンシグナル伝達を負に制御するPTP1Bを阻害することにより、インスリンの作用を増強し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	
JTT-552 (経口)	国内：Phase1	高尿酸血症	URAT1（尿酸トランスポーター1）阻害	腎臓における尿酸の再吸収に関するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	

前回（2006年10月31日）公表時からの変更点：JTT-705 の韓国での開発・商業化権をスイスのロシュ社へ導出

JTT-305 国内臨床試験 Phase1からPhase2へ移行